



新年のご挨拶



経営情報通信「チャンス！」を
いつもご愛読ありがとうございます。

新春のお慶びを申し上げます。

中村天風先生の言葉に「何かあるのが人生だ」という言葉がありますが、昨年の3.11は超特殊なものとしても、これからも“何かある”ということで、経済や政治ましてや経営環境では、“何も無いほうがおかしい”と言えます。

知識や予測をしておくことは、“備えて攻める”ために大きな威力を発揮しますが、必要以上に怯え、萎縮してしまうと思考停止どころか“逃げ”の思考になり、勝てる戦でも負けてしまいます。“逃げるが勝ち”をも備えのうちとして、選択肢の一つに入れてたくなるのはわかりますが、一度後ろを向いたら体制を立て直すのは厳しくなります。

大企業以上に経営環境が厳しい中小零細企業がこれを逆手にとって“身軽さ”を強みとできるならば、跳躍できる環境にもなります。つまり、信用がないから借金がなく、実績が少ないゆえに事業転換しやすく、迅速に変化に対応した収益活動に向けて“集中”できるということです。

一方、経営基盤が確立されている中堅中小企業の選択肢としては、粗利益率の改善、材料の仕入れルートが多様化、資金調達ルートが多様化と返済計画の見直し、財務コスト上昇への備え、販売ルートが多様化、資金と人材を未来型へウエートシフトするといった、一見地味な初歩の一手が大切です。また、今ある基盤を強化しながら、社内ベンチャーの育成を図ることです。多様化は非合理的になりやすいですが、“市場情報・競争・安定供給”のメリットの他にも、社内の緊張感が生まれることによって社内ベンチャーへの環境の高まりも期待できます。

微力ではありますが、弊社プロジェクトメンバーの司法書士・社会保険労務士と共にチーム一丸となり、問題解決に役立つ情報発信に努めて参りますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

執筆者一同：税理士法人 ゴーイング 代表税理士 山口 久行
税理士法人 ゴーイング 税理士 守屋 貴史
司法書士法人 芝トラスト 司法書士 宮本 敏行
佐藤事務所 社会保険労務士 佐藤 康三
竹馬社会保険労務士事務所 社会保険労務士 竹馬 大介

お問合せ：ナセル株式会社 東京都品川区南品川 4-2-32 品川税経会館 2F
TEL：03-3471-0830 FAX：03-3471-0850 E-mail：info-news@nasel.co.jp